令和８年度　学校経営方針

小平市立小平第七小学校

学校経営の理念

教育目標の達成のため、知・徳・体を育てながら、よりよく生きようとする意思をもつ児童の育成を目指す。学校は児童の発達段階や特性を考慮して創意工夫し、特色ある教育課程を編成し、児童が主体的に学習に取り組み、達成感を味わえる教育活動を行う。

公教育としての根拠

・日本国憲法　・教育基本法
・学校教育法等の法令及び学習指導要領
・都・市の教育目標

目指す学校の姿

こどもも大人も笑顔と思いやりがいっぱいの学校

こども・保護者・地域の願い

・楽しい学校　・活力のある学校
・安全安心な学校　・開かれた学校
・こどもが健やかに成長する学校

「こどもの笑顔と思いやり」を実現するために

○ こどもが豊かに関わり合う学級経営
○ 主体的に学び、相互に高め合う授業
○ 自他を尊重し、認め合う態度の育成

「保護者・地域の笑顔と思いやり」を実現するために

○ 安全・安心で落ち着いた学校の雰囲気づくり
○ 何事にも前向きにチャレンジする気運の醸成
○ 保護者・地域と相互に支え合う主体的な連携

「教職員の笑顔と思いやり」を実現するために

○ 教職員相互が温かく関わる働き方
○ 専門性を高めこどもと向き合う時間の確保
○ 心と体の健康の維持

教育目標

重点目標

よく考える子
よい考えいっぱい 他者と考えを深め合える子

いつも元気な子
あいさついっぱい すすんで行動しようとする子

こころのやさしい子
思いやりいっぱい 相手の気持ちを考えられる子

教育目標の達成のために

確かな学力の定着と向上

「主体的・対話的で深い学び」を大切にし、他者の考えを聞きながら、自分の考えを確かなものにできる児童の育成を目指す。

①学習内容の定着のために、分かるまで教える授業
②主体的・対話的で深い学びに向けた交流学習
③「表現力」を高める指導及び言語活動の充実
④七小支援ネット、放課後こども教室、ＣＳとの連携
⑤地域の教育力を生かした指導の工夫

たくましく生きる力の育成

「日常的な挨拶の指導」を徹底し、いつでも、どんなことにも、すすんで粘り強く取り組むことができる児童の育成を目指す。

①中学校と連携した「あいさつ運動」
②地域行事、諸作品募集等に対する積極的な取組の促進
③外遊びの励行と体育的活動の充実
④専門的知識を導入した健康教育・食育の実施
⑤生活点検表の活用等、家庭との連携

豊かな心の育成

「人権を尊重する学級経営」を進め、自他の生命を大切にするとともに、相手の気持ちを考えて行動できる児童の育成を目指す。

①「特別の教科　道徳」の授業改善と心の教育の充実
②自他の生命を大切にする心情の育成
③「こだいら特別活動の日」を中心とした特別活動の充実
④学校内外の組織と連携した生活指導
⑤七小スタンダードを基にした規範意識の定着

情報教育の推進

①視覚的に分かりやすい授業と学習者用端末の活用
②情報モラル教育の推進と情報選択・活用能力の育成
③学習者用端末を活用した家庭学習の充実

特別支援教育の充実

①特別支援教育の視点での環境整備と分かりやすい授業づくり
②研修を活用した特別支援教育への理解
③校内委員会の充実と特別支援教室担任と他の教職員との情報共有

キャリア教育の推進

①「こだいら特別活動の日」に向けた学習の充実
②たてわり班活動の充実
③ＣＳと連携した地域の人材を活用した学習

研究・研修の活性化

①教科担任制のための学年会　②「デジタルを活用したこれからの学び」に向けた実践的な研究　②校内ＯＪＴ研修会　③相互授業参観　⑤危機管理対応研修等

コミュニティ・スクールの推進

①３校連絡協議会や合同ＣＳを活用し、様々な課題へ対応
②地域の関係団体と協力してよりよい教育活動を展開
③関係の幼稚園、保育園との交流学習の推進と近隣小・中学校との交流活動を実施
④コミュニティ・スクールの活動を広報し、より多くの方々の理解と協力を得る

教職員の姿勢

○児童を心から慈しみ理解し、よさや個性を引き出し、伸ばす　○日々研鑽に努めると共に、協働して磨き合う　○地域を愛し、地域や保護者と共感し、積極的に対話しながら保護者や地域の信頼に応える